

1. この授業で付けさせたい力








デコラティブ・デコイのユニークな表現の特性に関心を持ち、独創的で個性豊かに発想し、主題を効果的に表現するために、形態・色彩・構成などを創意工夫する力。

2. 材料

石粉粘土 1袋と半分、芯材（190mlの空き缶、麻なわ、新聞紙）、アクリル絵の具。

3. 制作過程







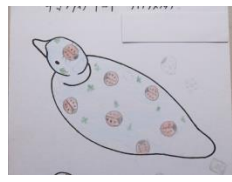
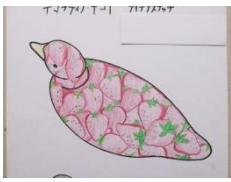

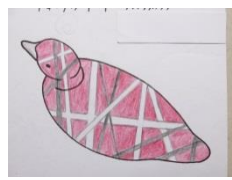
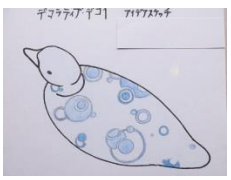


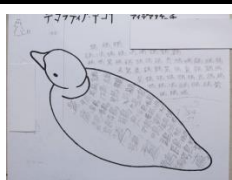


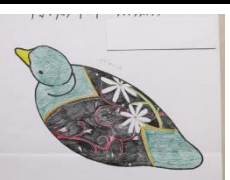
						
①芯を作る。空き缶の前後に新聞紙1/2ページを丸めて付ける。麻なわを巻く。	②粗付け。新聞紙、麻縄を濡らしてから粘土を付ける。麻なわが隠れるぐらいの厚さで、薄く粘土を付ける。	③粗付け。楕円形の平らな部分を作り作品の底面とする。また、頭部の芯を作る。ここでいったん乾かす。	④肉付け。胴回りをふっくらと大きくする。乾いた作品に粘土を付ける時は濡れ手で軽く水分を含ませる。	⑤肉付け。頭部と尾の部分を作る。頭部は丸くしない（擬人化しない）。	⑥肉付け完了。よく乾かして紙やすり（#60~120）をかける。	⑦ジェッソで下地を調整し、アイデアスケッチを参考にしながら絵を描き込む（着色する）。

4. 発想のヒント（アイデアスケッチ時の指導）

たくさんの例を見せて解説することで生徒の創造力を刺激する。

何も無いところからアイデアを出すのは専門家でも難しい。先例に学び、そこにインスピレーションを得て新しいアイデアを思いつくのだ。たくさんの例を見せることは、つまり発想の種をまくことだと考える。



			①絵を描く。 (海、山などの風景、花や動物などを描く)		②ワンポイント。 (背中にメインとなる絵を描く)
		③基本となる図案を柄のようにして散りばめる。 (例 花柄)			④変装。変身。 (例 服を着たカモ。カモなのに豹柄)
		⑤幾何学模様。			⑥鳥の羽模様の図案化。
	⑦漢字やアルファベットの構成。 (たとえばTシャツのような)				⑧その他自由な構成

5. 評価

美術への関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
デコイのユニークな表現の特性に関心を持ち、主体的に独創的で個性豊かな創造活動をしている	感性や想像力を働かせて、表現したい主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	主題を効果的に表現するために表現形式の特性を生かし、形体、色彩、構成などを創意工夫して表現している。	作者の意図や表現の工夫を感じ取り、そのよさや美しさを創造的に味わっている。